

感 予 発 0 9 2 8 第 1 号
令 和 5 年 9 月 2 8 日

各都道府県 衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課長
(公 印 省 略)

「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する
医療機関向け手引き」(15版)の訂正について

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については、令和5年9月20日付けにて、接種を実施する医療機関に向けて「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引きについて」(令和3年1月18日付け健発0118第2号厚生労働省健康局健康課長通知)の別添「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」(15版)において、現時点での情報とその具体的な事務取扱をお示したところです。

今般、別紙正誤表のとおり一部記載内容に誤りの記載がございましたので、別添のとおり差し替えを行います。

貴職におかれましてはこれを十分御了知の上、貴管内の市町村及び関係機関等に差し替えについて周知をお願いします。

「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」(15 版) 正誤表

手引き記載箇所	正	誤
第2章3.(1)①接種方法 (10 ページ)	12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを 18 日以上の間隔をおいて2回筋肉内に注射するものとし、接種量は、毎回 0.3 ミリリットルとすること。	<u>1.8 ミリリットルの生理食塩液で希釈した</u> 12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを 18 日以上の間隔をおいて2回筋肉内に注射するものとし、接種量は、毎回 0.3 ミリリットルとすること。
第3章2. (1)⑥ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチン及び武田社ワクチン(ノバボックス)を別の接種施設へ融通する場合の留意事項(19 ページ)	ワクチンの移送に要する時間は、モデルナ社 XBB.1.5 対応ワクチンの場合6時間以内とし、一定の要件を満たす保冷バッグを用いて移送を行うこと	ワクチンの移送に要する時間は <u>ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンの場合原則3時間以内</u> 、モデルナ社 XBB.1.5 対応ワクチンの場合6時間以内とし、一定の要件を満たす保冷バッグを用いて移送を行うこと
(図9) 新型コロナワクチンの各社情報(30 ページ)	ファイザー社(XBB.1.5)(5～11歳)及び(6か月～4歳)の保管温度に「-20℃±5℃:不可」を追記	
第7章1. (4)ワクチンをシリンジに充填して移送する場合に留意すること(81 ページ)	また、6か月～4歳用及び5～11歳用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンは希釈後 12 時間以内に、12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンは <u>穿刺後 12 時間以内</u> に使用すること。	また、6か月～4歳用及び5～11歳用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンは希釈後 12 時間以内に、12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンは <u>希釈後 6時間以内</u> に使用すること。
第8章2. 融通先医療機関へのワクチンの分配に当たり留意すること(84 ページ)	移送に要する時間について、モデルナ社 XBB.1.5 対応ワクチンと武田社ワクチン(ノバボックス)は6時間以内とし、第7章1. (2)の要件を満たす保冷バッグを用いて移送を行うこと。	移送に要する時間について <u>ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンは原則3時間以内</u> 、モデルナ社 XBB.1.5 対応ワクチンと武田社ワクチン(ノバボックス)は6時間以内とし、第7章1. (2)の要件を満たす保冷バッグを用いて移送を行うこと。
(図 32)ファイザー社のワクチンの配送・保管温度の関係(85 ページ)	①(2～8℃)での移送可能時間制限なし ③冷凍(-50℃～-15℃)での移	①(2～8℃)での移送可能時間 <u>原則3時間以内</u> ③冷凍(-50℃～-15℃)での移

手引き記載箇所	正	誤
	送可能時間 <u>不可</u>	送可能時間 <u>24 時間以内</u>
第8章3. (3)ワクチンの移送に当たり留意すること(86 ページ)	国が提供する保冷バッグについて、移送中に開閉を行う場合には、6回までとし、1回の開閉作業を2分以内に完了し、次の開閉までは 30 分以上の間隔を開けること。	国が提供する保冷バッグについて、移送中に開閉を行う場合には、6回までとし、1回の開閉作業を2分以内に完了し、次の開閉までは 30 分以上の間隔を開けること。 <u>また、途中で開閉を行う場合は、特殊な事情がある場合でも、6時間を超えて移送することはできないこと。</u>
第8章3. (3)①(イ) -50℃～-15℃で移送する場合の留意点(87 ページ)	(削除)	<u>(イ) -50℃～-15℃で移送する場合の留意点</u> (略)
第8章4. (3)ワクチンの管理について(92 ページ)	(削除)	<u>ファイザー社ワクチン(12 歳以上製剤)を-60℃～-15℃で移送した場合については、-60℃～-15℃の環境が維持できる冷凍庫を使用することもでき、さらに、1 回に限り、再度-90℃～-60℃の環境で保管することもできる。</u>
第11章1. (1)①(ウ)接種方法(110 ページ)	12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを 18 日以上の間隔をおいて2回筋肉内に注射するものとし、接種量は、毎回 0.3 ミリリットルとすること。	<u>1.8 ミリリットルの生理食塩液で希釈した 12 歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを 18 日以上の間隔をおいて2回筋肉内に注射するものとし、接種量は、毎回 0.3 ミリリットルとすること。</u>
第11章1. (1)①(ウ)接種方法(112 ページ)	・12 歳以上用オミクロン株(XBB.1.5)対応ファイザー社コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNAワクチンのバイアルは、ドライアイスが充填された幅 48cm×奥行 48cm×高さ 40cm の箱の中の幅 <u>8.9cm</u> ×奥行 <u>3.7cm</u> ×高さ <u>4.7cm</u> の小箱に納められている。	・12 歳以上用オミクロン株(XBB.1.5)対応ファイザー社コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNAワクチンのバイアルは、ドライアイスが充填された幅 48cm×奥行 48cm×高さ 40cm の箱の中の幅 <u>238.9cm</u> ×奥行 <u>233.7cm</u> ×高さ <u>44.7cm</u> 小箱に納められている。
脚注 12(114 ページ)	5～11 歳用ファイザー社ワクチ	5～11 歳用ファイザー社ワクチ

手引き記載箇所	正	誤
	<p>ンを冷蔵庫(2～8℃)で解凍する場合の解凍時間は、4時間を目安にすること。</p>	<p>ンを冷蔵庫(2～8℃)で解凍する場合の解凍時間は、4時間を目安にすること。<u>12歳以上用ファイザー社ワクチン(3時間)と比較して、解凍に時間がかかることに留意すること。</u></p>
<p>脚注 14(115 ページ)</p>	<p>6か月～4歳用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを冷蔵庫(2℃～8℃)で解凍する場合の解凍時間は、<u>2</u>時間を目安にすること。</p>	<p>6か月～4歳用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチンを冷蔵庫(2℃～8℃)で解凍する場合の解凍時間は、<u>4</u>時間を目安にすること。<u>12歳以上用ファイザー社 XBB.1.5 対応ワクチン(3時間)と比較して、解凍に時間がかかることに留意すること。</u></p>
<p>第 11 章2. (1)②(ウ)接種間隔(117 ページ)</p>	<p>①(エ)を参照。</p>	<p>①(ウ)を参照。</p>
<p>第 11 章2. (2)②(ウ)接種間隔(119 ページ)</p>	<p>①(ウ)を参照。</p>	<p>①(イ)を参照。</p>